

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 10号

2012/8/6 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、アジア産ココアバターレシオ7ヶ月ぶり高水準に。供給懸念。(8/3)

- ・ココアバターのレシオが昨年12月以来の高値水準に
- ・チョコレート会社は、直近積みの商品を探している
- ・ココアパウダーの価格はほぼ現状維持

アジア産のココアバターのレシオは欧州市場のカカオ豆磨砕数量が極端に落ち込み、ココアバターの在庫がタイトであるという市場環境に影響され、金曜日には昨年12月以来の高値水準に達し、来週も引き続き上昇懸念があるとシンガポールのディーラー筋が語った。

欧州の第二四半期のカカオ豆磨砕数量はカカオ豆磨砕業者のマージンが低いことと、欧州危機を背景としたチョコレート自体の消費低迷を受けて、前年対比で17.8%下落という、少なくとも過去12年で最も激しい落ち込みとなった。

『今週バターレシオは**1.20**で取引された。バターの買い付けが更にレシオの上昇に勢いをつけるだろう』とシンガポールのディーラーは言う。『需要は徐々に回復しており、得に直近のショートカバーが多い。バターの在庫は少なくなっているように思える』

アジア市場でのバターのレシオはロンドン先物市場に対して先週**1.15-1.17**であった。(過去最低は本年5月の**0.8**)

最近のアジア市場のココアバターレシオの上昇は、欧州の第二四半期のカカオ豆磨砕数量が発表された後にまず欧州市場で上昇し、加えて、いくつかのアジアのカカオ豆磨砕業者が意図的に販売を抑制したことから始まった。

一般的にココアバターの価格は、ロンドン先物市場のカカオ豆の価格に掛ける係数によって決められ、現在の12月渡しのカカオ豆の価格は、今週8カ月半ぶりの高値となる1,641ポンド/トンまで上昇した後、木曜日の段階で1,630ポンドとなった。

一方、アジア市場でのココアパウダーの価格は今週\$3600~3850/トンでオファーされており、先週の\$3700~\$4000/トンからほぼ変化はない。

2012/2013 シーズンのカカオ価格は、供給量が僅かに減少し、需要を満たせない傾向により 2013 年の年明けからの価格は底堅いと予測されている。

2,インドネシア・スラウェシ島からの豆輸出は減少、ランブーン州からの豆輸出は拡大(8/1)

インドネシアの主要なカカオ豆生産地であるスラウェシ島からの7月のカカオ豆輸出は前年の13,434 トンと比較し、37%減の8,464 トンであった。

また、6月のスラウェシ島からのカカオ豆輸出数量は4,935 トンであった。

一方、スマトラ島のランブーン州からの7月度のカカオ豆輸出数量は3,178 トンで前年対比で18.7%の増加となった。

昨年、インドネシアは異常に多い雨季にみまわれ、カカオ豆の生育に大きな悪影響を与え、2009年から350百万ドル(約280億円)を費やし開始した生産拡大プロジェクトにも大きな影響を与えた。

この影響で、コートジ、ガーナに次ぐ世界第3位のカカオ生産国であるインドネシアの2011年は27%減少の42万トンとなっており、2012年は天候状況が改善してきた影響により、約47.5万トンまで回復する見込みとされている。

*スマトラ島のランブーン州は生産数量的には大きな産地ではないが、インドネシアの中では得に発酵状態が良いカカオ豆が輸出される地域であるとされている。

◆スマトラ島とランブーン州の位置関係：

赤マル：スマトラ島の南部に位置する。

青マル：ランブーン州・・・スマトラ島の南部に位置する州



出典：ウィキペディア

出典：WIKIPEDIA

《ランブーン州からのカカオ豆輸出統計 2011/2012》

MONTH	VOLUME (tonnes)	Y/Y percentage change
July	3,174.8	+18.7
June	889	-83.2
May	2,540	-27
April	762	+20
March	1,300	-76
February	691.9	-74
January	2,514.6	+52
December	1,725	+25
November	4,000	+31
October	790	-85
September	900	+350
August	2,200	-51
July	2,675	-14
June	5,291	-30
May	3,502.5	-62
April	637.5	-69
March	5,375	+16
February	2,675	-37
January	1,650	-70

Source: Lampung Trade Office

3、コートジボワールの新物カカオ既に 91 万トン販売 (7/30)

コートジボワールは、2012/2013 年シーズンの収穫予測数量の約 70%に当たる 91 万トン在今年の年初に決められた販売入札制度に従って、既に先週前半までに販売したと財務省の担当官が発表した。『我々は当初の予定であった 70%までの販売は先週でほぼ終了したが、もしカカオ市場が上昇傾向と確認出来れば、更に販売の割合を増やし、全体の 80%もしくは、104 万トン程度まで販売する可能性がある』と同省のある担当者がコメントした。

4、コートジボワールのカカオ豆着荷数量、129 万 7,000 トンー前年比減 (7/30)

コートジボワールの輸出業者の 29 日までの推計によると、今期の同国のカカオ豆着荷量は約 129 万 7,000 トンとなった。前年同期は 136 万 8,429 トン。また国内の主要 2 港への 23 日～29 日までの 1 週間の着荷量は約 1 万 2,000 トンで、前年同期の 1 万 7,604 トンを下回ると見込まれている。

5、欧州市場：カカオ豆価格は少し緩和傾向。コートジボアール新物販売方法を懸念(8/3)

- ・カカオ豆のプレミアムは今週下落傾向
- ・コートジボアールの新しいカカオ豆販売スキームに未だ不透明さ
- ・欧州市場では以前ココアバターの需要は強い

欧州市場での今週のカカオ豆のプレミアム（ロンドン市場価格に対する実際の取引価格の調整額）はコートジボアールの新しいカカオ豆の販売方式が実際に開始される新物までは実態が掴めないという業界全体の見方を背景にして先週と比較し緩和された。

世界最大のカカオ生産国であるコートジボアールは10月1日からのカカオ新物で農家への固定価格販売を含むカカオ産業全体での新しい販売方法を導入しようとしているが、欧州のトレーダー筋によると、未だにコートジボアールの新しい販売方法を通じた構造改革には不透明な点が沢山あると説明している。

先週と比較し、今週のカカオ豆のプレミアムは12月積みのコートジボアール産で10ポンド/トン当たり低下でロンドン先物価格+60ポンド/トン、ガーナでは先週の+125ポンド/トンから今週は+90ポンド/トンへと下落した。

『欧州のバイヤーはショートカバーだ、先物をあまり買っていない。コートジボアールの新しいカカオ販売政策に未だ多くの不透明さを感じている』とオランダのトレーダーは話す。

コートジボアールは先物を売りすぎている。これが市場に対しても圧力をかけるだろうと思われている。実際、先週までにコートジボアールは2012/2013シーズン収穫予測の70%に当たる91万トンを既に販売したと発表した。

8月まで行う入札期間に決められた価格を基準としてシーズンの価格を算出し、当該シーズンは農家はその算出価格の50-60%を受け取るだろうと言われている。

『心配事項は、それが始まって何がおこるかだ。農家はあまりに高い期待をしているのではなかとも心配している』とトレーダーは懸念を示す。

コートジボアールは9月で終わる2011/2012シーズンのカカオ豆収穫数量は、その過去最高であった前シーズンと比較すると、3月までの5ヶ月間も続いた乾燥期間が特別長かった影響で減少する見込みである。

一方、欧州市場でのココアバターの需要はEuropean Cocoa Association (ECA)が7月に発表した第二四半期の磨砕数量が非常に下落したと発表された後から、引き続き強い需要が続いており、先週はロンドンココア豆市場に対して1.30レシオであったココアバターの価格は今週8月3日時点では1.36まで引き上げられた。

また、欧州のトレーダーによれば、業界は年末の休暇シーズンまでの原料買い付けは既に完了している

状態で、欧州の大きなチョコレート製造企業は現在クリスマス向けの製品の製造を開始し、在庫を作り始めている状態であるという。また原料の買い付けについては、徐々に年明けの需要分を買い始めている状況にあるようだ。

統計情報：

当ニュースでもよく各国の生産数量に関する情報が出てまいりますので、現在の各国のカカオ豆数量についての統計資料を ICCO の資料より抜粋してご紹介いたします。

**Production of cocoa beans
(thousand tonnes)**

	2009/10		Estimates 2010/11		Forecasts 2011/12	
Africa	2483	68.4%	3223	74.9%	2839	71.7%
Cameroon	205		230		200	
Côte d'Ivoire	1242		1511		1350	
Ghana	632		1025		970	
Nigeria	235		240		210	
Others	168		217		109	
America	516	14.2%	544	12.7%	529	13.4%
Brazil	161		200		180	
Ecuador	150		145		150	
Others	205		200		199	
Asia & Oceania	633	17.4%	537	12.5%	593	15.0%
Indonesia	550		450		500	
Papua New Guinea	39		47		48	
Others	44		40		45	
World total	3632	100.0%	4304	100.0%	3961	100.0%

Source: ICCO Quarterly Bulletin of Cocoa Statistics, Vol. XXXVIII, No. 1, Cocoa year 2011/12

Published: 29-02-2012

Note: Totals may differ from sum of constituents due to rounding.

視点：分かりやすく数字を捉える為に、現在世界のカカオ生産は400万トン。その内300万トンはアフリカ諸国、残りの100万トンをアジアと南米で50万トンずつ生産していると把握すると分かりやすいと思います。

*ニュースソースは特記がない場合以外は、ロイター通信社の情報を加工し提供しています。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp